

「市民公開シンポジウム」

第3回金沢大学子どもの こころサミット

The 3rd Summit for Child Mental Development of Kanazawa University

会期：2014年11月27日(木)～29日(土)

会場：北國新聞 赤羽ホール 1階 北國新聞交流ホール
(金沢市南町2番1号 TEL 076-260-3555)

11/27(木) / Nov.27(Thu)

13:00-13:20 Attraction Violin solo Chie Ebara (Orchestra Ensemble Kanazawa)
13:20-13:30 Opening Address Hiroshi Yamamoto (Vice President Kanazawa Univ.)

CD38・NAD A3 (Asian 3 countries) Meeting Part II

13:30-14:00 Opening Remarks
The CD38-cyclic ADP-ribose system in mammals:
historical background, pathophysiology and perspective
Hiroshi Okamoto (Tohoku Univ.)
14:00-14:30 Determinants of the membrane orientation of a calcium signaling
enzyme CD38 Hon Cheung Lee (Peking Univ.)
14:30-15:00 Coffee Break
15:00-15:30 Role of multiple enzymatic activities of CD38 for Ca²⁺ signaling
Uh-Hyun Kim (Chonbuk National Univ.)
15:30-16:00 Potential roles of CD38 in myeloma: a virtual view from the bone
marrow niche Fabio Malavasi (Univ. of Torino)

16:00-16:30 Toward a medicine-oriented use of the hormone/nutritional
supplement Absciscic Acid Antonio De Flora (Univ. of Genova)

16:30-17:00 Coffee Break

17:00-17:40 CD38 gene expression and social phenotypes: Blood genomics as a
proxy for CNS function Richard P. Ebstein (National Univ. of Singapore)

17:40-18:00 CD38 and CD157 expression: glial control of neurodegeneration and
neuroinflammation Alla B. Salmina (Krasnoyarsk State Medical Univ.)

18:00-18:20 Medicinal chemical study on cyclic ADP-ribose for developing the
stable and potent agonists and antagonists
Satoshi Shuto (Hokkaido Univ.)

18:20-18:40 Social memory and autism: Single nucleotide polymorphisms of
CD38 and improvement of social defects by Intranasal oxytocin
administration Haruhiro Higashida (Kanazawa Univ.)

11/28(金) / Nov.28(Fri)

金沢大学子どものこころの発達研究センター研究者による最近の研究報告

09:30-09:50 ストレスホルモン応答性分子、FAM107Bは周産期脳発生に重要な
影響をもたらす 小泉 恵太 (金沢大学)
09:50-10:10 自閉症スペクトラム障害における神経ネットワーク障害の解明:
非線形解析を用いた脳生理学的検討 高橋 哲也 (金沢大学)
10:10-10:30 自閉症の子どものためのワークショップを通じた学びと社会参加
竹内 慶至 (金沢大学)
10:30-10:50 自閉症スペクトラム児における感情プロソディーの理解
三浦 優生 (金沢大学)
10:50-11:10 Coffee Break
11:10-11:30 CD157/BST-1による不安・うつ様行動の制御 吉原 亨 (金沢大学)
11:30-11:50 幼児期の言語発達に関連する脳機能研究 吉村 優子 (金沢大学)
11:50-12:10 質問紙法にみる親のBroader autism phenotype 長谷川千秋 (金沢大学)
12:10-12:30 自閉症とモラル判断 平石 博敏 (金沢大学)

自閉症スペクトラムを対象としたオキシトシン臨床試験関連シンポジウム 「ヒトとヒトの間:対人交流における関係性を見すえて」

13:30-17:30 講演・パネルディスカッション予定者

社会脳の自発性と自閉スペクトラム症 千住 淳 (Univ. of London)

他者に感じる心は幻想なのか?
-ニューロサイエンティフィック・チューリングテスト-
高橋 英之 (大阪大学)

自閉症スペクトラム者による自閉症スペクトラム者の理解
米田 英嗣 (京都大学)

自閉症スペクトラム障害者へのオキシトシン投与の臨床試験
(国内外の現状) 小坂 浩隆 (福井大学)

オキシトシンスプレーによって対人コミュニケーションの困難を
その脳における基盤から改善する試み 夏堀 龍暢 (東京大学)

11/29(土) / Nov.29(Sat)

精神疾患のゲノム・遺伝子解析研究と医療倫理

09:30-09:40 精神疾患のゲノム・遺伝子解析研究と医療倫理:はじめに
横山 茂 (金沢大学)
09:40-10:20 精神疾患と研究倫理 中澤 栄輔 (東京大学)
10:20-11:00 自閉症の分子遺伝研究から橋渡し研究へ 江川 純 (新潟大学)
11:00-11:30 質疑応答
13:20-13:30 挨拶 山本 博 (金沢大学副学長)
13:30-13:40 挨拶 柴田 正良 (金沢大学副学長)
13:40-14:10 特別講演 木村 直人 (文部科学省)
14:10-14:30 Coffee Break

子どもの個性「見える化」への序章、「ロボット」からも挑戦状

14:30-15:00 幼児脳の個性の「見える化」への取り組み 菊知 充 (金沢大学)
15:00-15:30 大阪大学「革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)」
拠点の取り組み 上野山 雄 (パナソニック)
15:30-15:50 Coffee Break
15:50-16:20 情動・認知発達ロボティクスによる人工共感設計にむけて
浅田 稔 (大阪大学)
16:20-16:50 「白昼に星を見つける」感度極限超伝導センサの開発
樋口 正法 (金沢工業大学)
16:50-17:00 閉会の挨拶 東田 陽博 (金沢大学)

後援：北國新聞社／金沢大学十全医学会

共催：金沢大学子どものこころの発達研究センター

大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学 連合小児発達学研究所 金沢校

文部科学省 脳科学研究戦略推進プログラム 金沢大学拠点・東田グループ

文部科学省 革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM) 金沢サテライト

[事務局] 金沢大学子どものこころの発達研究センター

〒920-8640 金沢市宝町13-1 TEL/FAX (076) 234-4213 E-mail: childdev@med.kanazawa-u.ac.jp

入場無料
お申込み不要

どなたでもお気軽に
ご参加いただけます

